

<数値指標一覧>

	指標	データ 取得方法	目標値	計画策定時 の値	現状値	評価 ※		次年度に向けた方向性
1	県民一人当たりの公共交通機関利用回数	「旅客地域流動調査」	72.0回/人 (2028年度)	48.1回/人 (2020年度)	66.2回/人 (2024年度)	○	目標達成に向けて順調に増加している	引き続き取組を継続する
2	地域間幹線系統に関する事業評価におけるA評価の割合	各交通事業者からの報告	70.0%以上 (2028年度)	59.7% (2023年度)	39.0% (2025年度)	△	評価項目ごとの比較の結果、収支率、乗車人員に低下が見られたため、要改善とする	結果の原因を精査し、目標達成に向けた改善を行う
3	企画乗車券等の販売枚数	各交通事業者からの報告	13.4万枚以上 (2028年度)	12.1万枚 (2022年度)	20.4万枚 (2025年度)	◎	目標値を大幅に上回ることができた	次年度以降も目標達成し続けられるよう取組を継続する
4	G T F S データ整備済み市町数	各市町からの報告	33市町 (2028年度)	6市町 (2023年度)	16市町 (2025年度)	○	目標達成に向けて順調に増加している	引き続き取組を継続する
伊豆	観光客の公共交通利用率	「静岡県における観光の流動実態と満足度調査」	30%以上 (2028年度)	22.0% (2022年度)	17.8% (2025年度暫定値)	△	計画策定以降低迷を続けており、要改善とする	結果の原因を精査し、目標達成に向けた改善を行う
東部	交通結節点における乗換環境整備箇所数	各交通事業者及び市町からの報告	10駅以上 (2028年度)	—	13駅 (2025年度)	◎	計画初年度に目標を達成し、さらに増加を進めている	次年度以降も実績を伸ばせるよう取組を継続する
中部	利用者増につながる公共交通サービスの見直し件数	市町からの報告	7件(全市町) (2028年度)	—	6市町 (2025年度)	○	目標達成に向けて順調に増加している	引き続き取組を継続する
西部	多様な資源活用も含めた新たな公共交通サービスの導入件数	各交通事業者及び市町からの報告	5件以上 (2028年度)	—	5件 (2025年度)	◎	目標年度前に目標を達成した	次年度以降も目標達成し続けられるよう取組を継続する

※ ◎：目標達成、○：順調に推移、△：要改善、×：未達成

<数値指標個票>

■指標 1：県民一人当たりの公共交通機関利用回数

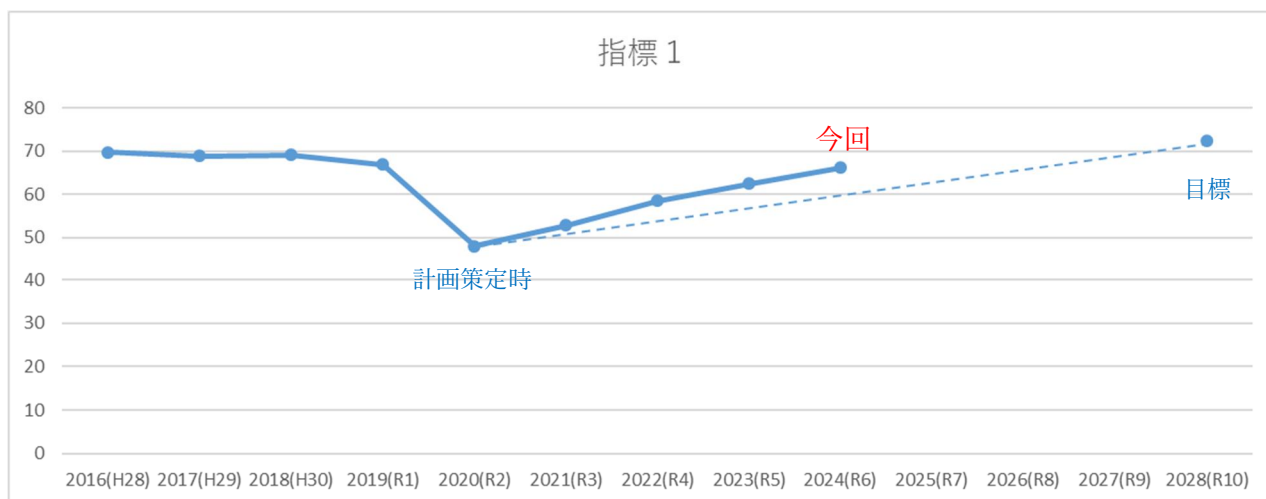
コロナ禍前 (2019 年度)	計画策定時 (2020 年度)	現状値 (2024 年度)	目標値 (2028 年度)
66.9 回/人	48.1 回/人	66.2 回/人	72 回/人以上

【算出方法】

国土交通省にて毎年とりまとめられている「旅客地域流動調査」記載の、静岡県における鉄道（JR、民鉄の合計値）、路線バス（乗合バス）、タクシー・ハイヤーの輸送人員を、各年次の県人口で除して算出。

【推移】

		鉄道		路線バス	タクシー・ ハイヤー	人口 (千人)	合計 (回/人)
		J R	民鉄				
2019年度 コロナ 禍前	輸送人員 (千回)	126,123	39,845	64,906	13,649	3,656	66.9
	利用回数 (回/人)	34.5	10.9	17.8	3.7		
2020年度 計画 策定時	輸送人員 (千回)	88,587	28,153	51,513	6,619	3,633	48.1
	利用回数 (回/人)	24.4	7.7	14.2	1.8		
2021年度	輸送人員 (千回)	93,784	29,814	55,122	12,169	3,606	52.9
	利用回数 (回/人)	26.0	8.3	15.3	3.4		
2022年度	輸送人員 (千回)	106,503	32,928	56,046	14,126	3,582	58.5
	利用回数 (回/人)	29.7	9.2	15.6	3.9		
2023年度	輸送人員 (千回)	115,358	35,258	57,196	14,412	3,554	62.5
	利用回数 (回/人)	32.5	9.9	16.1	4.1		
(2024年度 現状値)	輸送人員 (千回)	119,031	36,182 (36,191)	59,848 (61,846)	15,896	3,491	66.2
	利用回数 (回/人)	34.1	10.4	17.1	4.6		
2028年度 目標値	輸送人員 (千回)	126,123	39,845	64,906	13,649	3,380	72.3
	利用回数 (回/人)	37.3	11.8	19.2	4.0		



【評価】

目標に向けて順調に推移している。（計画策定時から目標 23.9 ポイント増に対し 18.1 ポイント増加）
このため、「順調に推移」と評価した。

【次年度に向けた方向性】

引き続き取組を継続する。

■指標 2：地域間幹線系統に関する事業評価における A 評価の割合

計画策定時 (2023 年度)	現状値 (2025 年度)	目標値 (2028 年度)
59.7%	39.0%	70%以上

【算出方法】

県では、県の補助事業「バス運行対策費助成」の対象系統に対し、独自に設けた「地域間幹線系統に関する事業評価」に基づき評価している。評価は、各評価項目（運行回数、収支率、乗車人員、ネットワーク構成、広域トリップ状況等）に評価点を設定し、合計点の得点率に応じて、A から D の 4 段階で評価する。本指標は、A 評価となった系統数を全系統数で除して算出。（目標値は、計画策定時の値の 10 ポイント高い 70%以上に設定）

【推移】

	全系統数	A 評価の系統数	A 評価の割合
計画策定時（2023年度）	62	37	59.7%
実績値（2024年度）	59	31	52.5%
現状値（2025年度）	59	23	39.0%

現状値は著しく減少しているが、2024 年度（令和 6 年度）に事業評価方法が変更となったことが一因となっており、A 評価の割合での純粋な比較が困難。（見直し内容の詳細は「参考」のとおり）。

このため、評価判別の基準となる採点項目まで細分化した上、変更のない項目について比較し、評価を行う。

<収支率>

(系統数)

	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
50%以上	38	40	38
40%以上 50%未満	17	10	7
30%以上 40%未満	6	7	12
25%以上 30%未満	0	0	1
25%未満	0	2	1
計	62	59	59

<乗車人員>

(系統数)

乗車人員	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
5 %以上 増加	42	25	21
5 %未満 増加	9	7	11
5 %未満 減少	6	8	9
5 %以上 減少	5	19	18
計	62	59	59

<ネットワーク構成>

(点数)

	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
拠点（駅・B T）：2 点／箇所 乗換可能バス停：1 点／箇所	8.9	8.6	8.6

<広域トリップ状況>

(系統数)

	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
50%以上	26	26	25
30%以上 50%未満	20	19	20
10%以上 30%未満	11	11	11
5 %以上 10%未満	4	2	2
5 %未満	1	1	1
計	62	59	59

【評価】

収支率は全体的に減少傾向。

乗車人員は利用者数の伸び悩みにより、実績が計画より 5 %以上増加した系統が減少。

上記により要改善とする。

【次年度に向けた方向性】

結果の原因を精査し、目標達成に向けた改善を行う。

■指標 3：企画乗車券等の販売枚数

計画策定時 (2022 年度)	現状値 (2025 年度)	目標値 (2028 年度)
12.1 万枚	20.4 万枚	13.4 万枚

【算出方法】

交通事業者ごとに企画した乗車券等の販売枚数を足し合わせた数値。(目標値は、計画策定時の値の約 1.1 倍に設定)

【推移】

	販売枚数 (万枚)
計画策定時 (2022年度)	12.1
実績値 (2024年度)	24.5
現状値 (2025年度)	20.4

【評価】

コロナ禍から経済活動が回復し、初年度の 2024 年度 (R6) に引き続き、2025 年度 (R7) も目標値を大幅に上回ることができた。(事業者ごと、企画乗車券ごとの販売枚数の内訳は別紙 1 のとおり)

【次年度に向けた方向性】

次年度以降も目標達成し続けられるよう取組を継続する。

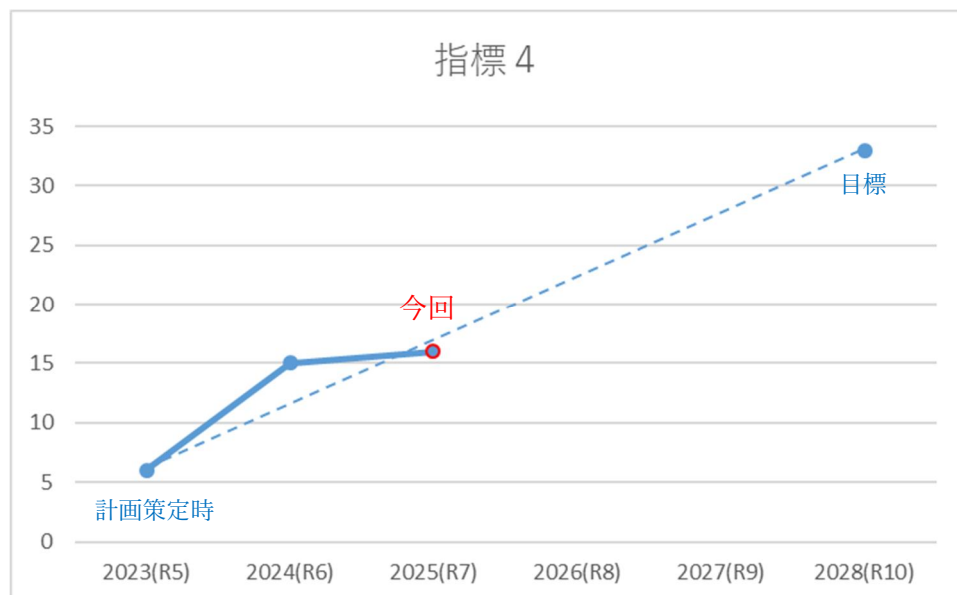
■指標 4：G T F S データ（経路検索アプリやサイトに掲載されるのに必要なデータ）整備済み市町数

計画策定時 (2023 年度)	現状値 (2025 年度)	目標値 (2028 年度)
6 市町	15 市町	33 市町

【算出方法】

自主運行バス（定時定路線）を運行する市町数において、G T F S データ整備済みの市町を足し合わせた数値。目標値は、自主運行バスを運行する全市町数に設定。計画策定時は 33 市町だったが、現時点では 32 市町（熱海市、裾野市、吉田町以外の市町）。

【推移】



【評価】

2024 年度（R6）の 9 市町の増加に比べ、2025 年度（R7）は 1 市町の増加にとどまっている（累計 16 市町）ものの、目標に近い増加傾向であるため「順調に増加している」と評価した。整備を検討している 7 市町（別紙 2 参照）を中心に、目標を前倒しで達成できるよう、引き続き、G T F S データを整備する市町への働きかけを行っていく。

【次年度に向けた方向性】

引き続き取組を継続する。

■伊豆地域の指標：観光客の公共交通利用率

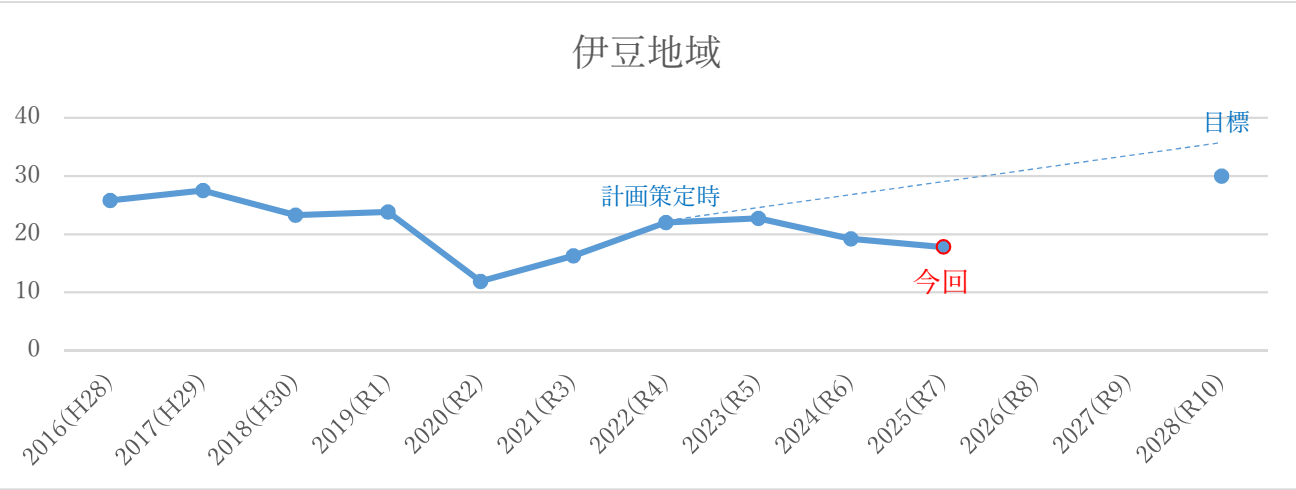
計画策定時 (2022 年度)	現状値 (2024 年度)	目標値 (2028 年度)
22%	17.8%	30%以上

【算出方法】

「静岡県における観光の流動実態と満足度調査」より、伊豆地域をメイン訪問地域とした人において、利用交通手段として公共交通（JR在来線、私鉄・地下鉄、市内電車、市内バス）と回答した割合。（目標値は、約 10 年前の水準に戻すことを目標に 30%以上に設定）

【推移】

	JR在来線	市内バス	私鉄 地下鉄	市内電車	合計
計画策定時 (2022年度)	12.0%	4.9%	5.1%	0.0%	22.0%
2023年度	12.4%	4.3%	6.0%	0.0%	22.7%
2024年度	10.9%	3.3%	4.9%	0.1%	19.2%
現状 (2025年度)	11.3%	3.8%	2.6%	0.1%	17.8%



【評価】

2023 年度は微増したものの 2024 年以降減少が続いており、要改善とする。

【次年度に向けた方向性】

観光客データの分析など、結果の原因を精査し、目標達成に向けた改善を行う。

■東部地域の指標：交通結節点における乗換環境整備箇所数

計画策定時 (2023 年度)	現状値 (2025 年度)	目標値 (2028 年度)
－	13 駅	10 駅以上

【算出方法】

待合環境や情報提供、駐輪場・駐車場の整備、運行ダイヤの見直しなど、交通結節点における乗換環境の機能強化や乗換時間の短縮等にかかる取組を行った、東部地域内の駅数を足し合わせた数値。（目標値は、東部地域内の東海道新幹線・東海道本線・御殿場線の全 20 駅のうち、半数以上となる 10 駅以上に設定）

【推移】

	箇所数（駅）
計画策定時（2023年度）	-
実績値（2024年度）	12
現状値（2025年度）	13

【評価】

別紙 3 のとおり、2024 年度(R6)時点で目標値は達成していたものの、2025 年度(R7)は新たに情報ボードの更新やバスマップの配架などの設置などが行われ、さらに実施箇所数を伸ばしている。

【次年度に向けた方向性】

次年度以降も実施箇所数を伸ばせるよう取組を継続する。

■中部地域の指標：利用者増につながる公共交通サービスの見直し件数

計画策定時 (2023 年度)	現状値 (2025 年度)	目標値 (2028 年度)
－	6 件	7 件

【算出方法】

市町が運行している公共交通サービスのうち、利用者のニーズを考慮して運行の見直しを行い、利用者増につなげた件数。(目標値は、中部地域の各市町で1件以上に設定)

【推移】

	件数 (市町)
計画策定時 (2023年度)	-
実績値 (2024年度)	6
現状値 (2025年度)	6

【評価】

別紙4のとおり、市町数は横ばいであるものの、島田市、牧之原市においてさらなる見直しが行われており、取組件数は増加しているため、目標達成に向けて順調に増加しているとした。

【次年度に向けた方向性】

引き続き取組を継続する。

■西部地域の指標：多様な資源活用も含めた新たな公共交通サービスの導入件数

計画策定時 (2023 年度)	現状値 (2025 年度)	目標値 (2028 年度)
－	5 件	5 件以上

【算出方法】

多様な輸送資源の活用や、グリーンスローモビリティ、自動運転、A I 等を活用したオンデマンド交通など、新しい公共交通サービスを導入した件数（目標値は、毎年度 1 件以上の導入を目指し、5 件以上に設定）

【推移】

	導入済み件数（件）
計画策定時（2023年度）	-
実績値（2024年度）	3
現状値（2025年度）	5

【評価】

別紙 5 のとおり、2025 年度(R7)に新たに湖西市、森町において新たな公共交通サービスが導入済みとなり、目標を達成した。

【次年度に向けた方向性】

次年度以降も件数を伸ばせるよう取組を継続する。

企画乗車券等の販売枚数

事業者名	企画乗車券名	令和 7 年度
伊豆急行	沿線こどもきっぷ	4,051
	中学生きっぷ	6,369
	ひだまり定期	1,012
	学期定期	885
	伊東スマートパス（通学1か月）	207
	伊東スマートパス（通学3か月）	217
	アクティブパス	541
	中学生パス	117
	いずきゅんキッズパス	72
	ぷらっと伊豆高原往復割引乗車券	1,725
伊豆箱根鉄道	駿豆線1日乗り放題乗車券「旅助け」大人	8,943
	駿豆線1日乗り放題乗車券「旅助け」小児	263
	伊豆長岡温泉「湯ったり切符」	7,130
	虹の郷セット券	126
	伊豆・三津シーパラダイスセット券大人	650
	伊豆・三津シーパラダイスセット券中学	1
	伊豆・三津シーパラダイスセット券小人	52
	訪日外国人旅行者向け1日フリー乗車券大人	134
	訪日外国人旅行者向け1日フリー乗車券小人	3
	訪日外国人旅行者向け2日フリー乗車券大人	52
	訪日外国人旅行者向け2日フリー乗車券小人	2
岳南電車	ビール列車	263
	ジャズ電車	62
	1日フリー乗車券	8,849
静岡鉄道	ワンデーパス	6,222
	おまちバル1日フリー乗車券	1
	電車バス1日フリー乗車券	760
	まぐろきっぷ	67
	1-Day train Pass	419
	ヒロアカ1日フリー乗車券	1,449
	ヒロアカトリプルライドパス	764
	BANDAI 1日フリー乗車券	867
	ビー・バップ・ハイスクール1日フリー乗車券	388
	2日間全線フリーきっぷ	2,000
	ビール列車	2,000
	土休日1日フリーパス	2,000
	夜行列車ツアー	2,000
	鉄道バス共通フリーパス	2,000
大井川鐵道	本線フリーきっぷ	2,039
	開運たぬきっぷ	165
	井川・寸又峡周遊きっぷ	6,869

別紙 1

事業者名	企画乗車券名	令和 7 年度
遠州鉄道	HAMANAKO 2DAYS PASS	72
	遠鉄ぶらりきっぷ	2,983
	あかでん1日フリーきっぷ	1,226
遠州鉄道	遠鉄電車・天浜線共通1日フリーきっぷ(東ルート)	790
	遠鉄電車・天浜線共通1日フリーきっぷ(西ルート)	1,565
	遠鉄バス 土日祝1日フリーチケット【大人1】	1,216
	遠鉄バス 土日祝1日フリーチケット【大人1小児1】	71
	遠鉄バス 土日祝1日フリーチケット【大人1小児2】	2
	遠鉄バス 土日祝1日フリーチケット【大人2】	228
	遠鉄バス 土日祝1日フリーチケット【大人2小児1】	20
	遠鉄バス 土日祝1日フリーチケット【大人2小児2】	7
	遠鉄バス 土日祝1日フリーチケット【小児1】	2
	浜松まるっとパス(6時間券)	386
	浜松まるっとパス(1日券)	415
	浜松まるっとパス(2日券)	216
	浜松・浜名湖まるっとパス(6時間券)	323
	浜松・浜名湖まるっとパス(1日券)	438
	浜松・浜名湖まるっとパス(2日券)	480
天竜浜名湖鉄道	天浜線全線 1 日フリーきっぷ	4,923
	茶畑きっぷ	336
	みかんきっぷ	1,777
	遠州鉄道共通フリーきっぷ 東ルート	3,554
	遠州鉄道共通フリーきっぷ 西ルート	6,250
	シルバーパス	169
	フルーツパークセット券	273
東海バス	全線 2 日券	2,844
	全線 3 日券	2,073
	熱海 1 日券	9,711
	伊東・伊豆高原 2 日券	12,387
	伊豆高原・城ヶ崎 1 日券	12,343
	下田 2 日券	2,791
	石廊崎・下田 2 日券	5,143
	堂ヶ島・松崎・石廊崎 2 日券	791
	三島 1 日券	5,407
伊豆箱根バス	箱根ワンデーパス(利用区間に静岡県内含む)	2,482
	箱根ツーデーパス(利用区間に静岡県内含む)	1,658
	絶景富士山乗車券	6,370
	熱海満喫乗車券	2,385
	伊豆長岡湯ったり切符	7,130
	伊豆三津シーパラダイスセット券	703

別紙 1

事業者名	企画乗車券名	令和 7 年度
富士急モビリティ	富士登山バス・フリーきっぷ	93
	富士山富士五湖バスポート	33
	Mt.FUJIパス 富士山フリーパス（外国人のみ）	83
	富士山・静岡エリア周遊きっぷミニ（外国人のみ）	4
	富士急ハイランドセット券	369
	遊園地ぐりんぱセット券	35
富士急モビリティ	富士登山バス・フリーきっぷ	27
	富士山富士五湖バスポート	42
	Mt.FUJIパス 富士山フリーパス（外国人のみ）	64
	富士急ハイランドセット券	211
	遊園地ぐりんぱセット券	43
	スノーパークイエティセット券	116
	富士サファリパークセット券	1,440
富士急バス	富士山西麓バスポート	140
富士急静岡バス	白糸の滝・田貫湖フリーきっぷ	8,319
	富士山西麓バス周遊きっぷ	1,309
	ぐりんぱワンデークーポンセット券	54
	イエティバスセット券	162
	サファリバスセット券	10
	その他企画券	8,976
富士急シティバス	富士サファリパーク路線バスセット券	480
	ぐりんぱ路線バスセット券	50
	イエティ路線バスセット券	160
しずてつジャストライン	静鉄バス+日本平ロープウェイ+久能山東照宮セット券	8,224
合 計		204,120

G T F S の整備状況

※自主運行バスを運行していないため対象外

	整備済	検討中	予定なし
	直営		
静岡市	○		
浜松市		○	
沼津市			○
熱海市	対象外※		
三島市	○		
富士宮市		○	
伊東市	○		
島田市	○		
富士市		○	
磐田市	○		
焼津市	○		
掛川市	○		
藤枝市		○	
御殿場市			○
袋井市	○		
下田市			○
裾野市	対象外※		
湖西市	○		
伊豆市	○		
御前崎市		○	
菊川市	○		
伊豆の国市			○
牧之原市	○		
東伊豆町			○
河津町	○		
南伊豆町			○
松崎町			○
西伊豆町			○
函南町			○
清水町		○	
長泉町		○	
小山町	○		
吉田町	対象外※		
川根本町	○		
森町	○		
小計	16	7	9
合計	32		

令和7年度までに実施した交通結節点における乗換環境整備

赤字：R7 追加

駅名	所在市町	整備内容
新富士駅（東海道新幹線）	富士市	自動運転バス公道実証運行（R6）
富士川駅（東海道本線）	富士市	バリアフリー化工事設計等（工事はR7～8のため、 <u>今回はカウントしない</u> ）
富士駅（東海道本線）	富士市	身延線との相互の乗り換えを考慮した時刻の調整（R6） 改札口における運行情報や遅延情報を提供するモニター（情報ボード）の更新【JR 東海】（R7） 自動運転バス公道実証運行（R6） 改札前の床面にバス乗り場の方向やバスの行き先（代表地点）を表示【富士市】（R7）
吉原駅（東海道本線）	富士市	なし
東田子の浦駅（東海道本線）	富士市	なし
原駅（東海道本線）	沼津市	なし（令和5年度に駐輪場拡張とトイレ環境整備済）
片浜駅（東海道本線）	沼津市	バス時刻を表示するデジタルサイネージの設置（R6）
沼津駅（東海道本線、御殿場線）	沼津市	相互の乗り換えを考慮した時刻の調整（R6） 改札口における運行情報や遅延情報を提供するモニター（情報ボード）の更新【JR 東海】（R7）
三島駅（東海道新幹線・本線）	三島市	新幹線との乗り換えを考慮した時刻の調整（R6） 改札口における運行情報や遅延情報を提供するモニター（情報ボード）の更新【JR 東海】（R7） 東海道本線への乗り換えを考慮したダイヤの見直し【富士急モビリティ】（R6）
函南駅（東海道本線）	函南町	改札口における運行情報や遅延情報を提供するモニター（情報ボード）の更新（R7）
大岡駅（御殿場線）	沼津市	なし
下土狩駅（御殿場線）	長泉町	駅前広場（ロータリー）のリニューアル整備（R6）
長泉なめり駅（御殿場線）	長泉町	なし
裾野駅（御殿場線）	裾野市	循環線バスダイヤ改正、御殿場線のバス乗入れ【裾野市】 御殿場線への乗り換えを考慮したダイヤの見直し【富士急モビリティ】（R6）
岩波駅（御殿場線）	裾野市	改札口における運行情報や遅延情報を提供するモニター（情報ボード）の更新【JR 東海】（R7） 循環線バスダイヤ改正【裾野市】（R6） 御殿場線への乗り換えを考慮したダイヤの見直し【富士急モビリティ】（R6）

富士岡駅（御殿場線）	御殿場市	駐輪場の整備（Ｒ６）
南御殿場駅（御殿場線）	御殿場市	なし
御殿場駅（御殿場線）	御殿場市	御殿場線への乗り換えを考慮したダイヤの見直し【富士急モビリティ】（Ｒ６） 改札口における運行情報や遅延情報を提供するモニター（情報ボード）の更新【ＪＲ 東海】（Ｒ７）
足柄駅（御殿場線）	小山町	御殿場線への乗り換えを考慮したダイヤの見直し【富士急モビリティ】（Ｒ６） 小山町コミュニティバスマップを駅構内に配架【小山町】（Ｒ７）
駿河小山駅（御殿場線）	小山町	御殿場線への乗り換えを考慮したダイヤの見直し【富士急モビリティ】（Ｒ６） 小山町コミュニティバスマップを駅構内に配架【小山町】（Ｒ７）

計 13 駅

令和 7 年度までに実施した利用者増につながる公共交通サービスの見直し 赤字：R7 追加

市町名	実施 年度	利用者ニーズの把握方法	見直し内容
静岡市	R 6	OD 調査	自主運行バス蒲原・病院線の車両ノンステップ化
島田市	R 6	町内会会合への出席によるヒアリング、町内会全戸へのアンケート調査	デマンドタクシーから地域タクシー制度への見直し（令和 7 年度実証実験実施中）
	R 7	地元企業の要望	朝夕の通勤時間帯において、要望のあった地元企業を経由するルートに見直し（金谷循環線）
藤枝市	R 6	利用者アンケート	停留所を増設した
		地元住民との協議	学区長期休業期間中のみデマンド化した
牧之原市	R 6	利用実績より	デマンドタクシー各号の統合を行い、運行日を拡大した
	R 7	利用者からの要望	デマンド乗合タクシーの施設間移動を実装
		長年課題としていた空港から市街地への誘客及び市街地から空港へのアクセス改善 住民からの要望	空港・道の駅定額タクシーの開始（空港または道の駅いずれかが発着点であれば、安価・定額で市内を移動可能）
		長年課題としていた西部方面への足の確保 住民からの要望	矢崎アローラインの開始（矢崎ものづくりセンター従業員用の送迎バス（回送部分）を地元住民の通勤や通学用に無料で運行）
吉田町	R 6	自治会、利用者からの要望	デマンド型乗合タクシーの停留所の増設
川根本町	R 6	住民ワークショップ	J R 東海道本線との接続のための町営バス時刻表の改正

計 6 市町

別紙 5

令和 7 年度までに実施した多様な資源活用も含めた新たな公共交通サービスの導入状況

【西部地域】

赤字：R7 追加

事業者名 市町名	新たな公共交通サービス	実証 or 導入
浜松市	自動運転（浜松自動運転やらまいかプロジェクト第 5 回実証実験）	実証実験
ヤマハ発動機 株式会社 （磐田市）	通勤活用グリーンスローモビリティ	実証実験
袋井市	袋井東地区タクシー	導入済
湖西市	A I オンデマンド交通（デマンド型乗合タクシー）の導入	導入済
	企業送迎バスを地域住民の足として活用（湖西市企業シャトル BaaS）	導入済
矢崎部品 株式会社 （菊川市）	企業送迎バスを地域住民の足として活用	導入済
掛川市	AI オンデマンド交通（自主運行バスの収支率が低い地区で実施）	実証実験
御前崎市	バス（定時定路線）から AI オンデマンド交通への転換	実証実験
森町	地域タクシー（日中に交通空白となる地域）	導入済
遠州鉄道(株)	自家用車からの転換に繋がる移動手段の導入促進	実証実験の実施 を検討中
遠州鉄道(株)	サイクルアンドライド等の利用者からの意見の把握、情報共有	実証実験の実施 を検討中

計 5 件（導入済）

【その他地域（参考）】

事業者名 市町名	新たな公共交通サービス	実証 or 導入
静岡市	駿府浪漫バス廃止に伴う医療・福祉施設路線バスの新設	実証実験
富士市	山梨交通(株)路線バス廃止に伴う代替えバス運行	実証実験

地域間幹線系統に関する事業評価 見直し後の評価項目比較

1 令和6年度評価項目の見直し

(1) 経緯

本県は、独自の評価基準を用いて地域間幹線系統の事業評価を実施している。

本県の評価結果を踏まえた国の第三者評価委員会において、維持が危ぶまれる地域間幹線系統については実態を反映した評価基準への見直しが必要との提言を受け、令和6年度に補助要件である輸送量を評価項目に加える等の見直しを行った。

(2) 見直し内容

ア 評価項目

下線部分について見直しを行った。

＜見直し前（～令和5年度）＞		＜見直し後（令和6年度～）＞	
項 目	基 準	項 目	基 準
運行回数	年間計画運行回数と実績運行回数を比較	運行回数	<u>国庫補助基準を満たしているか</u> <u>（運行回数3回/日以上）</u>
収支率	計画値に対する実績値	収支率	<u>収入を確保できているか</u>
乗車人員	計画人員と実績人員を比較	乗車人員	計画人員と実績人員を比較
ネットワーク構成	他の系統に乗換可能なアクセス拠点の数	ネットワーク構成	他の系統に乗換可能なアクセス拠点の数
広域トリップ状況	市町跨ぎの移動割合 (H13.3.31現在の市町) (運行実績による)	広域トリップ状況	市町跨ぎの移動割合 (H13.3.31現在の市町) (運行実績による)
キロ当たり経費	補助対象年度の前年度の地域キロ当たり経常費用単価（静岡・山梨ブロック）との比較	キロ当たり経費	<u>【廃止】</u>
		<u>輸送量</u> <u>【追加】</u>	<u>国庫補助基準を満たしているか</u> <u>（実績輸送量15人/日以上）</u>

イ 総合評価

評価項目ごとの点数を合計し、以下のとおり総合評価する。（下線部分を変更）

見直し前（～令和5年度）	見直し後（令和6年度～）
A（52～79点）：地域間幹線系統として優れた役割を果たしている	A（ <u>86点以上</u> ）：地域間幹線系統として優れた役割を果たしている
B（26～51点）：地域間幹線系統として適した運行となっている	B（ <u>66～85点</u> ）：地域間幹線系統として適した運行となっている
C（～25点）：地域間幹線系統として改善に努力を要する	C（ <u>51～65点</u> ）：地域間幹線系統として改善に努力を要する
	<u>D（50点未満）：見直しの検討を要する</u>